



NTT
西日本

“光”ひろがる。ひびきあう。

覚えてください、
災害時の声の伝言板

災害用伝言ダイヤル

171



171
忘れてイナイ?
災害伝言171
などと覚えてください。

多くの被害が出た阪神・淡路大震災。

そのときの教訓を踏まえ、NTT西日本では災害に強い通信システムの実現に向けて取り組んでまいりました。

その取り組みの一つとして「災害用伝言ダイヤル」を提供しております。

これは、被災地域内やその他の地域の方々との「声の伝言板」です。

被災地の方が録音した安否などに関する情報を他の地域の方がお聞きいただけるほか、

他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。

「災害用伝言ダイヤル」の提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTT西日本で決定し、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTT西日本で決定し、テレビ、ラジオ等でお知らせします。伝言蓄積数には限りがあります(最大10件)。緊急の方以外のご利用はお控えください。●加入電話、公衆電話、ひかり電話からご利用できます。携帯電話やPHS、他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者へお問い合わせください。●伝言の録音、再生時には、発信されるお客様から伝言の録音または再生する電話番号までの通話料(通常、電話をおかけになる場合と同様の料金)が必要です。伝言蓄積等のセンタ利用料は無料です。

こんな時の、災害用伝言ダイヤル「171」

下のイラストは、一つの災害事例をわかりやすく絵にしたものです。



- 「171」をダイヤルし、利用ガイドスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTT西日本で決定し、テレビ、ラジオ等でお知らせします。伝言蓄積数には限りがあります(最大10件)。緊急の方以外のご利用はお控えください。
- 加入電話、公衆電話、ひかり電話からご利用できます。携帯電話やPHS、他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者へお問い合わせください。
- 伝言の録音、再生時には、発信されるお客様から伝言の録音または再生する電話番号までの通話料(通常、電話をおかけになる場合と同様の料金)が必要です。伝言蓄積等のセンタ利用料は無料です。

ご利用方法

「171」をダイヤルし、利用ガイドスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTT西日本で決定し、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

伝言の録音方法



伝言の再生方法



被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。(通話料金が必要です) 他通信事業者の電話からは一部ご利用できない場合があります。

※録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。設定方法等はNTT西日本までお問い合わせください。

※点線内のご利用方法は、切り取って携帯用としてご利用ください。 http://www.ntt-west.co.jp/dengon/

【伝言の録音】

- ① **1 7 1** とダイヤルします。

アナウンス 「こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです
録音される方は『1』
再生される方は『2』
暗証番号を利用する録音は『3』
暗証番号を利用する再生は『4』をダイヤルして下さい」

- ② 録音をするので **1** を押します。

アナウンス 「被災地の方は**ご自宅の電話番号**、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を**市外局番**からダイヤルして下さい。
被災地域以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい」

- ③ 自宅の電話番号を市外局番からダイヤルします。

「059-000-xxxx」

アナウンス 「電話番号059-000-xxxxの伝言を録音します
プッシュ式の電話機をご利用の方は**数字の「1」のあと「#」**を押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。
なお電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。

- ④ **1 #** を押してください。

アナウンス 「伝言をお預かりします。**ピツ**と言う音のあとに30秒以内でお話下さい。
お話が終わりましたら**数字の「9」のあとシャープ「#」**を押して下さい」



- ⑤ メッセージを録音します。

例) 〇〇です。家族は全員無事で、xx小学校に避難しています。

----- **ここで電話を切ることも可能です 伝言は録音されています** -----

- ⑥ お話しが終わったら **9 #** を押します。

アナウンス 「伝言を繰り返します。訂正される時は数字の「8」のあとシャープ「#」を押してください。

訂正がない場合、録音したメッセージが再生されます

再生 : 「〇〇です。家族は全員無事で、xx小学校に非難しています」
アナウンス : 「伝言をお預かりしました」

【伝言の再生】

① **1 7 1** とダイヤルします

アナウンス 「こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです
録音される方は『1』
再生される方は『2』
暗証番号を利用する録音は『3』
暗証番号を利用する再生は『4』をダイヤルして下さい」

②再生をするので **2** を押します

アナウンス 「被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の
方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい
**被災地域以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を
市外局番からダイヤルして下さい**」

③被災地の電話番号を市外局番からダイヤルします。

「059-000-xxxx」

アナウンス 「電話番号059-000-xxxx」の伝言をお伝えします
プッシュ式の電話番号をご利用の方は**数字の「1」のあと「#」**を押して
下さい ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい
なお電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい **ピッ**

④ **1 #** を押してください。

アナウンス 「新しい伝言からお伝えします
**伝言を繰り返す時は数字の「8」のあとシャープ「#」を
次の伝言に移る時は数字の「9」のあとシャープ「#」を押してください**」

伝言再生 : 家族は全員無事で、xx小学校に避難しています

アナウンス : この伝言は○日午前/午後○時○分にお預かりしました

アナウンス ※複数伝言があった場合**「次の伝言をお伝えします」**
※他に伝言がない場合**「お伝えする伝言は以上です」**

⑤伝言の確認ができれば電話を切って終わりです。

アナウンス 伝言を追加して録音される時は数字の「3」のあとシャープ「#」を
押してください **ピッ**
※「3」「#」を押した場合は、伝言の録音を促すアナウンスが流れ
録音することができます

●伝言の録音、再生時には、発信されるお客様から伝言の録音または再生する電話番号までの通信料(通常、電話をおかけになる場合と同様の料金)が必要です。伝言蓄積等のセンタ利用料は無料です。